

大雨による災害に備えて

平成30年7月豪雨では、河川の氾濫などによる浸水被害や市内各地での山腹崩壊、土石流による土砂災害などの甚大な被害を受け、未曾有の大災害となりました。大雨による被害を最小限に抑えるためには、日頃からの備えや避難行動の確認が大切です。

☎ 防災復興推進課 ☎ 21・0246

早めに行動しましょう

大雨のときの移動は、浸水により身動きが取れなくなったり、思わぬ深みにはまったりするなど大変危険です。大雨は事前に予測ができるため、気象情報に注意して、早めの行動を心掛けましょう。移動を伴う避難が危険な場合は、自宅の2階以上や山と反対側の部屋へ移動するなど、臨機応変な行動をしましょう。

高梁市防災マップ

市は防災マップを作成し、4月中旬に町内会長を通して市内各戸に配布しています。防災マップは、災害時にどのような行動を取ればよいか整理するための「情報冊子」と、最新の洪水浸水想定区

域などを掲載し、自宅などの災害リスクを把握するための「地図」に分かれています。防災マップを活用して、自らの命を守る行動を取るために備えましょう。

高梁市地図情報システム

インターネット上の地図で避難所、土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域などを確認することができ、高梁市地図情報システムを作成しました。地図の縮尺変更や線・文字の書き加えなど、自分好みの地図を作成できます。
※防災マップと地図情報システムは市ウェブサイトでご覧いただけます。



防災マップ



地図情報システム

6月12日(日) 大規模水害対策訓練

6月12日(日)に、市内各地で「大規模水害対策訓練」を行います。当日は防災ラジオやメール配信サービスを活用した訓練を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。



令和3年度の訓練の様子

自主防災組織の結成・活動

大規模災害の直後は交通網や通信網などのライフラインが混乱する場合があり、行政による救出や支援が行き届かないときは地域による支え合いが大切です。

平成30年7月豪雨災害時にも、地域による1人暮らし世帯などへの水の配布や、要支援者への安否確認などにより救われた人も多く、地域の自主防災活動が大きな役割を果たしました。

大規模災害を乗り切るためにも、各地域で自主防災組織を結成し、「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで、日頃から災害に備えましょう。

自主防災組織活動促進補助金

市内の自主防災組織の活動について補助金を交付します。

内容	補助金額
防災訓練	基本額 10,000 円 + 組織加入世帯数 × 100 円 (限度額 50,000 円)
防災士養成	防災士の認証の取得費用(交通費などは除く)ただし、自主防災組織以外の市内団体に所属する者が取得する場合は、取得費用の1/2を限度とする。
研修・啓発	限度額 20,000 円
防災マップ作成	限度額 50,000 円
防災資機材整備	基本額 30,000 円 + 組織加入世帯数 × 200 円 (限度額 100,000 円) ※2回目以後は上記の半額とし、50,000 円を限度とする。